



長野県支部からの報告

長野県支部支部長 鈴木貞博
(南長野医療センター篠ノ井総合病院・総合診療科)

日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会を長野県支部が主管し、2021年10月30日(土)、31日(日)にWeb学会として開催いたしました。

当初は2020年10月に長野JAビルを主会場に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症パンデミックのため、1年延長の上Webのみの学会開催となりました。

学会テーマは「つながれ！信州の青空の下～地域ケアの今とこれからを語り合おう～」と、いたしました。学会プログラムは信州大学総合診療科特任教授である関口健二先生をプログラム委員長として、長野県支部会員の全面協力を得て作成し、特別講演2題(「人生100年時代をどう支えるか」、講師；鎌田實諏訪中央病院名誉院長。「PC医による震災復興の取り組みの光と影」、講師；長純一前石巻市立在宅医療センター長)、教育演題1題(「プライマリケアにおける母性内科医療」、講師；村島温子国立成育医療研究センター・妊娠と薬情報センター長)、特別企画1題(「これまでの新型コロナウイルス感染症を総括し、それぞれの現場で第6波に備える」、企画責任者；関口健二信州大学総合診療科特任教授)、その他、シンポジウム5題、ワークショップ4題、ランチタイムセミナー2題、イブニングセミナー1題、一般演題16演題の各プログラムを行いました。

学会当日は、南長野医療センター篠ノ井総合病院を配信基地としてWeb上に3会場を設定し配信いたしました。半分以上のプログラムがライブ配信で質疑応答もあり、はたしてうまく運営できるか心配しておりましたが、大きなトラブルもなく無事開催する事ができました。参加者は有料参加者約370名、無料参加者(学生や学会員以外の講師など)約60名、合計約430人となりました。

ご参加いただきました学会員の皆様には心より感謝いたします。

今後新型コロナウイルス感染症が終息し、次回のブロック地方会は皆様のお顔を直接拝見しての開催ができる事を心より祈念いたしております。

尚、2021年度はブロック地方会の開催に注力したため、長野県支部総会を行わずZOOMによる県支部理事会のみ開催いたしました。

学会ホームページはまだご公開された状態ですので、プログラムの抄録などにご興味のある方はご覧下さい(<https://confit.atlas.jp/guide/event/jpcakkse2022/top>)。

(「関東甲信越ブロック地方会」で検索すると、トップに出きます。)

日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部

2021 年度事業報告

自 2021 年4 月 1 日

至 2022 年3 月31 日

会員総数：67 名(2022 年 3 月 2 日現在)

(医師：41 名、薬剤師：3 名、歯科医師：1 名、その他：22 名)

I 会議

1.臨時総会

書面による決議

議事

- 1) 規約改定について
- 2) 会長交代について
- 3) 副会長交代について
- 4) 常任幹事退任について
- 5) 幹事退任について

2.総会

書面による決議

議事

- 1) 2021 年度事業報告
- 2) 2021 年度決算報告ならびに監査結果について
- 3) 2022 年度の予算案について
- 4) 2022 年度事業案について

3.臨時幹事会

日 時：2021 年9 月29 日(水)19 時 ～

場 所：オンライン開催

議事

臨時総会（12/6）について

- 1) 規約改定について
- 2) 会長交代について
- 3) 副会長交代について
- 4) 常任幹事退任について
- 5) 幹事退任について

4.幹事会

メールによる幹事会

議事

総会（3/15）について

- 1) 2021 年度事業報告
- 2) 2021 年度決算報告ならびに監査結果について
- 3) 2022 年度の予算案について
- 4) 2022 年度事業案について

II 後援事業

・保健・医療・福祉に関する勉強会（年6回）

【日本プライマリ・ケア連合学会単位認定講座】

（それぞれ 専門医・認定医1 単位 認定薬剤師1 単位）

・ 2021 年5 月20 日

「小児慢性脳死と遺体観、子ども観」

渡部誠一先生 土浦協同病院 小児科

土浦協同病院附属看護専門学校長

筑波大学非常勤講師

・ 2021 年6 月17 日

「我が国における外国人労働者の動向 -医療分野を中心に-」

亀山純子先生 筑波大学非常勤講師

筑波大学医学医療系 博士特別研究員

・ 2021 年7 月8 日

「日本理学療法士協会の今後の取り組み」

斉藤秀之先生 日本理学療法士協会 会長

筑波大学非常勤講師

・ 2021 年11 月11 日

「パラリンピックを中心としたスポーツにおける障害者支援の実際」

香田泰子先生 筑波技術大 障害者高等教育研究支援センター 教授

・ 2021 年12 月6 日

「女性のヘルスケア～月経・避妊・中絶」

宗田聡先生 広尾レディース院長

筑波大学非常勤講師

・ 2022 年2 月1 日

「アルコール低減外来の設置と更なるアルコール総合対策への展望」

吉本 尚先生 筑波大学医学医療系 地域総合診療医学 准教授

筑波大学附属病院 総合診療科

斉藤 剛先生 筑波大学附属病院 総合診療科

・公益社団法人茨城県作業療法士会令和3年度市民公開講座 名義後援

東京都支部会

議員総会が12月25日にZOOM会議にて開催されました。議事録は別紙2の通りです。そこで下記のように役員が決定されました。

支部長：竹村 洋典先生（令和4年1月1日～多摩北部医療センター）

副支部長：佐々江 龍一郎先生（NTT 東日本関東病院）、守島 亜季（守島医院）

幹事：小坂 鎮太郎先生（練馬光が丘病院）

監事：山下 徹先生（山下診療所）、柴田 淑子先生（すず薬局）

また、東京都支部会のホームページの構築、構築されたメーリングリストのさらなる活用、関東甲信越地方会にかかる件などが議論され、承認されました。また関東甲信越ブロック地方会2022に向けて議論がされました。

東京都支部会は、大学グループ、病院グループ、診療所グループに分かれて活動しております。そのグループごと、リーダー長を中心にリーダーが企画運営しております。役員会も動き出しました。別紙1のように、様々な活動に向けて、議論が行われました。

来年の第一四半期は、関東甲信越ブロック地方会のさらに詳細な企画・運営、各グループにおける活動、また、情報共有が効果的にできるホームページの構築など、東京都のプライマリ・ケアのさらなる強化に向けた活動がされる予定です。

東京都支部会長 竹村 洋典

（東京都保健医療公社 多摩北部医療センター総合診療科）

別紙1

① 3グループ（大学・病院・診療所）リーダー長オンライン会議を実施

2021年10月20日（水）21:00～22:30

2021年12月16日（木）20:00～21:30（関東甲信越ブロック支部長 大西弘高先生ご出席）

2022年1月29日（土）21:00～22:30

2022年2月10日（木）21:00～22:30

② 3グループ合同リーダー会オンライン会議を実施

2021年9月29日（水）20:00～22:00

③ 東京支部役員会（第1回）オンライン会議を実施

2022年2月21日（月）21:00～22:00

出席者：支部長（竹村洋典先生）、副支部長（佐々江龍一郎先生、守島亜季）、幹事（小坂鎮太郎先生）、監事（山下徹先生、柴田淑子先生）

■ 主な議題

1) 令和3年度臨時議員総会について（2021年12月25日（日）18:00～19:05開催）

2) 関東甲信越ブロック支部地方会開催について（2022年秋の開催を予定）

3) 会員同士の情報共有のためのML開設および活用について

4) 東京支部ホームページ作成の検討

5) 3グループの交流と今後の活動について

別紙2：2021年度臨時議員総会議事録

日本プライマリ・ケア連合学会東京都支部 令和3年度 臨時議員総会 議事録

日時：2021年12月25日（日）18:00～19:05

場所：zoom 会議

出席：参加者（代議員17名、議長1名、支部長1名）+委任状（22名）

※東京支部会員総数：1,484名、代議員総数：91名

1. 議長選出

台東病院 山田先生が議長に立候補し、司会を兼ね議長として会を進行。

2. 今年度第一半期の活動報告（竹村支部長）

- ① 東京都支部規約
令和3年6月の第1回東京都支部議員総会にて可決
- ② 東京都支部銀行口座開設
支部規約および定款が認可されたため銀行口座が開設
- ③ 情報共有のための会員用 ML、および代議員用 ML 開設
- ④ COVID 対策のための研修会（診療所グループ：守島から報告）
令和3年5月18日にオンラインで研修会を開催し19名の会員が参加し情報共有を行なった
- ⑤ 若手向け東京都の総合診療魅力化の zoom 講演会（大学グループ：東京医科大学 平山先生から報告）

3. 今年度第二期事業計画（竹村支部長）

- ① 東京都支部ホームページの作成
予算との兼ね合いで作成を検討する必要がある
- ② ML の活用促進
促進策として実際に会員に自由に投稿頂きたい
専攻医の勧誘や講習会・研修会の案内の場としても活用頂きたい
- ③ 関東甲信越ブロック支部地方会開催（2022年11月 zoom 開催予定）
 - ・関東甲信越ブロック支部長 大西先生を交えてリーダー長会議にて先日会議を行なった
 - ・竹村支部長が東京医科歯科大学を退職し令和4年1月1日から東京都公社病院の一つである多摩北部医療センターに異動する。人的資源・資金などについて改めて検討する予定だが、これまでの学術大会での経験（三重大会、中部ブロック支部地方会、さらには第1回京都 WONCA、3学会合同学術大会）を考えると、現時点では実施可能と考えている。
 - ・地方会の開催時期は2022年秋頃（11月）を検討。
 - ・関東支部議員総会にて前回地方会開催の長野県（鈴木貞博先生）から報告があったように開催にあたり費用がかさむ可能性がある。
 - ・東京での地方会では、会場費がさらにかさむ可能性が高く、次年度の関東甲信越ブロック地方会はオンラインのみでの開催を現時点では検討している。
 - ・魅力的な演者を招聘して、どれだけ集客するか、また、不必要な費用を削減できるかが肝になる。
 - ・専攻医の発表や単位取得の場も必要と考える。
- ④ 診療所グループによる講習会

- ⑤ 病院グループによる講習会
- ⑥ 大学グループによる講習会

【質疑】

大西先生：議員総会開催にあたり規約として代議員総数の 1/3 の可決が必要だが、必要総数を満たしているのか。

竹村支部長：出席者 19 名、委任状：22 名で計 41 名となり、代議員総数 91 名のうち必要総数 1/3 にあたる 31 名を上回っており必要総数を満たしている。

山田議長：地方会については赤字補填や資金の面については多少の心配が出てくる可能性がある。オンラインでの開催は 1 つの長所ではないかと考える。

総合診療の講習会に関わる情報が少ないため支部会員の情報共有の場として ML の活用は大変有り難いと思う。

<決議> 承認：17 名

4. 予算案（2021 年度～2022 年秋まで）

収支報告。

ホームページ作成については外部業者への委託を考えている。

関東甲信越ブロック地方会参会費の収入は 300 万円を想定している。

【質疑応答】

南郷先生：①東京都全体の予算なのか、地方会に関する予算なのか分かりにくいので収入・支出の内訳を分けて明示した方がいいのではないか？②支部ホームページを作成する際に広告を募るといった話が支部長から出ていたが、どのような団体や組織から広告を募ることを検討しているのか？製薬会社などの広告を検討しているのか。

竹村支部長：「広告」というのはあくまでも会員が所属する病院や診療所などが企画する講習会や研修会の案内やポスターを想定した発言であり、一般企業や製薬会社などの広告は想定していない。

山田議長：年次毎の収支を明確にすると更に良いのではないかと考える。

<決議> 承認：17 名

【全体審議】

一般会計と 2022 年関東甲信越ブロック地方会の収支に分けて改めてメール審議

◎地方会について

大西先生：前回の長野地方会は有料参加者と無料参加者がいて計 400 名程度の参加であった。参加者収入は約 210 万円（参加費は一人 5,000 円だった）、そこに製薬会社からの補助を加えて合計の収入は 300 万円程度だった。次回の東京都開催の地方会で 300 万円程度の参加者収入を得るのは厳しいのではないかと考えるが如何か？

竹村支部長：魅力のあるコンテンツを考え参加者を増やす手立てを考える必要がある。

山田議長：特に有料参加者を増やす手立てが必要なのではないか。是非参加したいと思えるコンテンツを検討ください。寄付を募るのはどうか、ただし可否については不明なためこれも確認が必要。

角先生：WS 形式で一緒に参加者同士が考えるのは楽しかったが、オンラインだと WS をどのように行なうのかは検討が必要。手技などのコンテンツがあるといいのではないかと考える。

青木先生：先日開催された PCR コネクトで大会長を務めた。オンデマンド配信は無かったが、開催後に聴講したいとか、指導医が

専攻医に聴かせたいなどの要望もありオンデマンド配信も検討するのもいいのではないか。

山田議長：リサーチに関わるような情報共有は価値が高いのではないかと思う。

竹村支部長：多職種連携のWSも検討したい。

坂口先生：薬剤師企画は出したいとは思いますがセッション数や全体の内容によって考えたい。

<決議> 承認：17名

5. 役員について

支部長：竹村 洋典先生（令和4年1月1日～多摩北部医療センター）

副支部長：佐々江 龍一郎先生（NTT 東日本関東病院）、守島 亜季（守島医院）

幹事：小坂 鎮太郎先生（練馬光が丘病院）

監事：山下 巖先生（山下診療所）、柴田 淑子先生（すず薬局）

新たに幹事・監事の先生を上記でお願いすることとなった

<決議> 承認：17名

6. 竹村支部長の異動

令和4年1月1日～多摩北部医療センターに異動予定。

これまでと同様に、東京都の総合診療医育成とプライマリケア機能を担う医師の総合診療機能の向上、多職種連携に尽くしたいと考えている。大学の竹村でないと支部長として認められない場合もあるので、お伺いした。

【質疑応答】

守島：リーダー長会議では伺ってはいるが、議員総会ですので竹村支部長が異動後の事務局機能について改めて全体説明をお願いしたい。

竹村支部長：今までも自分がこなしてきたことと、大学の秘書を使用するのはCOIなどの問題もあるため秘書などに業務を任せるのはかえって難しい。

山田議長：地方会などの開催にあたっては支部長お一人で担うのは負担が大きい可能性もあるため、その場合には再考をお願いします。

<決議> 承認：17名

7. その他

なし。

以上